

## CONTENTS

- 会長就任挨拶  
「摂南大学土木会の更なる発展に向けて」  
会長 青木葉 隆典(昭和62年卒)
- 学科長挨拶  
「コロナ禍を経てさらなる飛躍に」  
都市環境工学科 学科長 熊野 知司
- 総会案内
- 令和4年度通常総会開催
- 令和5年度準会員向け講演会予定
- 役員・評議員名簿
- [摂南大学土木会] 令和4年度決算書・令和5年度予算書(案)
- 教室だより
- 令和5年度就職状況
- 工学部土木工学科8期生 還暦同窓会
- 澤井ゼミ・ミニ同窓会
- 卒業生特集  
活躍する摂大卒業生
- 土木工学科2期生同窓会・井上 治先生、久保 章君を偲ぶ会の報告
- 田中賢太郎先生を偲ぶ
- 技術士会だより
- 寄付いただいた方
- 訃報
- 会員の声
- 在学生特集  
テーマ「Z世代から見た現代社会」

寝屋川キャンパス3号館正面



寝屋川キャンパス3号館ラーニングcommons



- 用紙: 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ: 環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷

# 摂南大学土木会の更なる発展に向けて

会長 青木葉 隆典（昭和62年卒）大鉄工業株式会社



会員の皆様には、平素より摂土会の活動においてご支援・ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

私が会長就任し、1期2年目となります。更なる摂土会活動の発展に向けて、微力ながら一層努力する所存であります。どうぞ宜しくお願いします。

今年7月には九州北部や秋田県などでの豪雨災害が発生し、8月には台風6号、7号により各地で災害が発生しました。これらにより被災された方々に心からお見舞い申し上げます。近年の地球温暖化の影響により、線状降水帯や台風による豪雨災害が例年発生しており、各地で大きな被害が発生しております。私達、土木技術者は国民の生命と財産を守るため、防災施設の整備、被災箇所を早期復旧に寄与するとともにカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを一層進めていく必要があります。

さて、昨年度は新型コロナウイルス感染症が収束していき、3年ぶりに対面で総会と懇親パーティーを開催することができ、役員会・評議員会も4回対面で開催することができました。今年度は、更なる活動の活発化に向け役員体制を一部改正しております。新型コロナウイルス感染症は、今年5月から

5類感染症となり、役員会・評議員会等の活動が進めやすくなりました。また、新型コロナウイルスの感染は見られておりますが、皆様の安全を確保し、活動を進めてまいります。

また、昨年11月29日に摂南大学理工学部都市環境工学科の田中賢太郎先生が逝去されました。田中先生は摂南大学工学部土木工学科を卒業された先生で、教員業務がご多忙の中、当会の発展に向けて熱心に取り組んでこられました。お亡くなりになられた田中先生の小さなお子様の成長に少しでもお役立て頂けるよう遺児育英募金を設立しました。この遺児育英募金のお願いについては会報に同封させていただくとともにホームページに掲載しております。多くの会員の皆様に、ご支援をお願い申し上げます。

摂土会は、令和6年度で設立60周年を迎えます。さらに摂南大学は、この翌年の令和7年度で設立50周年と大きな節目を迎えます。これまで築き上げてきた歴史ある摂土会の更なる発展、都市環境工学科への貢献に向け、この節目の活動を会員の皆様と一緒に盛り上げていければと考えております。

最後に、今年度は摂南大学寝屋川キャンパスで11月18日（土）に総会を開催します。是非とも多くの会員の絆を深めるため、会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

# コロナ禍を経てさらなる飛躍に

都市環境工学科 学科長 熊野 知司



摂南大学土木会会員の皆様には、平素より都市環境工学科の教育ならびに運営にご理解とご

協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。挨拶に先立ちまして、田中賢太郎先生の訃報を報告させていただきます。昨年、11月29日に田中賢太郎先生が逝去されました。先生は、摂南大学工学部土木工学科を2001年3月に卒業、摂南大学大学院工学研究科に進学され2003年3月に修士課程を修了されました。その後、大阪市立大学大学院の博士後期課程に進まれ、修了後、関東学院大学勤務を経て、2011年4月に摂南大学理工学部都市環境工学科の教員としてご着任されました。

構造工学の准教授として学内外を問わず活躍され、将来が囑望されている中で急逝でした。謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の第5類に移行したのを受けて、大学の教育・研究活動も完全に平常時に戻りました。昨年度の摂土会会報第43号でも報告したように、単にコロナ禍前の授業方法に戻るのではなく、進化した対面授業の構築に向けて、各教員が努力を続けています。事前に動画教材を学生に提

供し、学習を進めた上で教室での授業は演習やグループワークなどによって学生が主体的に学ぶ、いわゆる「反転授業」といわれる方式が多額の授業で取り入れられるようになりました。理論と実践の繰り返しが必要となる土木工学分野の教育においても有効な手法になるのではと考えられ、今後の検証に期待しています。

本学科は、2024年度にJABEE（日本技術者教育認定機構）の継続審査を受審する予定で、今年度はまさに準備の年になります。学外の有識者から学科の教育に対する意見や要望をいただくことを目的に、昨年の8月29日に外部評価会を実施いたしました。外部評価委員として摂土会会員の方にも委員をお願いいたしました。評価結果は「教育システムとしては優れたものとなっているが、今後の持続性を考える」とさらなる合理化が望まれる」というものでした。いただいた意見をもとに継続審査に向けて準備を重ねていきたいと思っております。その過程で摂土会の皆様にご協力をお願いすることがあると思いますので、その時は何卒、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、摂土会会員の皆様方の益々のご活躍を祈念しますとともに今後とも都市環境工学科への変わらぬご支援をいただけますようお願いして挨拶とさせていただきます。

## 令和4年度通常総会開催される

都市環境工学科 准教授 佐藤大作

令和4年度の特例講演会、通常総会および懇親会が令和4年11月19日(土)午後3時より大阪工業大学梅田キャンパスにおいて開催されました。同講演会・総会・懇親会は3年ぶりに全対面形式で実施することができました。

特別講演会は公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の西村嘉浩様より、身近なところで開催予定の大阪・関西万博について貴重なお話を頂戴しました。あらためて心より御礼申し上げます。

総会は青木葉隆典会長(摂大昭和62年卒)の挨拶に始まり、令和3年4月より都市環境工学科に着任された久保田誠也先生の司会で、岩崎 央様を議長に選出し、過年度の事業報告・決算報告および令和4年度事業計画・予算計画について審議され、それぞれ原案どおりに承認されました。

総会に引き続いて、懇親パーティーを同キャンパス21階のレストランテラスにおいて荻田喜代一学長先生のご臨席を賜り盛大に開催されました。3年ぶりの対面での懇親パーティーということもあり、久々の再会を喜び合う笑顔の絶えない懇親会となりました。



## 総会・懇親会の案内

### 令和5年度 摂南大学土木会総会

代表幹事 手嶋 正和(平成10年卒)

令和5年度総会・懇親会を下記日程で開催いたします。是非旧友とご連絡をお取り頂き、ご参加頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 【とき】

令和5年11月18日(土)

- 16:00~17:00 令和5年度総会
- 18:00~20:00 懇親会

#### 【ところ】

(総会) 摂南大学寝屋川キャンパス  
3号館1階311教室(最大250名)

(懇親会) 寿司・和食 がんこ寝屋川店(最大50名)

【懇親会会費】5000円(予定)

#### 【特別ゲスト】

今回は退職された先生方を招待する予定です。以下は未確定ですが、順次声掛けをいたします。

(上田先生、波田先生、頭井先生、  
澤井先生、銭谷先生、道廣先生、  
海老瀬先生、八木先生、瀬良先生、  
福島先生、片桐先生)

※13:00~15:00には準会員向け講演会  
(在学2年生、3年生を対象)を開催いたします。

## 令和5年度準会員向け特別講演会予定(2年生、3年生対象)

【とき】令和5年11月18日(土) 13:00~15:00

【講演内容】公共機関：兵庫県 荒木良太様(令和2年卒)、JR西日本 藤家祐希様(平成31年卒)  
施工会社：奥村土木興業(株) 廣瀬剛様(平成10年卒)、(株)森本組 花田博紀様(平成25年卒)  
設計会社：中央復建デザインプラス(株) 土屋涼様(令和2年卒)、(株)きんそく 古川龍二様(平成16年卒)  
メーカー：ケイコン(株) (未定)

建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理  
**大島技術コンサルタント株式会社**  
本社 岡山県真庭市藤山上福田829-1  
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(代)  
FAX 0867-66-3674  
URL: <http://www.ogcflight.co.jp>

株式会社 新井組  
2030 ARAIGUMI  
未来を築く使命を担う。  
明日のソリューションプロバイダーへ  
AIMING FOR THE NEXT LEVEL OF CONSTRUCTION  
創立79年、建設事業を通じて社会に貢献することを誇りとしています。  
〒662-8502 兵庫県西宮市池田町12番20号 TEL: 0798-26-3111 FAX: 0798-26-8281 URL: <http://www.araigumi.co.jp/>

令和5年度 摂南大学土木会役員・評議員名簿【案】

相相談役	森 俊介(S55)	同上 幹事	明角 政俊(H10)	大島 和夫(S47)	松下 正寿(S58)	水島 裕幸(H12)	黒田 佳郎(H27)
同上	藤田 孝志(S55)	同上 会報	廣瀬 剛(H10)	城 幸一郎(S47)	木村 寿夫(S59)	亀井 義明(H12)	中野 洋平(H28)
同上	新井 栄作(S60)	同上 会報	佐藤 大作	平峯 武志(S47)	宮川 尚三(S60)	高岡 栄二(H13)	合田 周平(H29)
同上	新田 耕司(H02)	同上 名簿	坂本 圭(H10)	塩沢 隆(S48)	大野 幸一(S61)	福島 智行(H14)	田中 達大(H30)
役員		同上 HP	伊東 悟(H05)	田中 昌明(S48)	大橋 政広(S62)	川勝 雄介(H15)	奥田 勝稀(H31)
会長	青木葉隆典(S62)	同上 会計	石田 裕子	万字 敦(S49)	高田 太(S62)	小山 裕貴(H16)	藤家 凌我(H31)
副会長	西川 朝彦(S48)	同上 会計	久保田誠也	陰山 豊秀(S50)	中野 茂(S63)	藤澤 博規(H16)	森 敬洋(R02)
同上	今西 秀樹(S61)	同上 監査	伊藤 譲	城野 和夫(S50)	森 光正(H01)	亀岡 慎也(H17)	阪田 直樹(R02)
常任委員	熊谷 樹一郎	同上 監査	眞鍋 育弘(S51)	延永 稔仁(S50)	秋岡 宜和(H02)	中島 誉史(H18)	杉本 雅弥(R03)
同上	熊野 知司	評議員	中野 昭雄(S39)	柴田 芳彦(S51)	岡田 博志(H03)	藤田 雄三(H19)	中原 汰朗(R03)
同上	寺本 俊太郎		福田 富保(S40)	小西 隆夫(S52)	佐々木 剛(H04)	東出 唯(H20)	桃瀬 凌(R04)
同上	水野 忠雄		中谷 利昭(S42)	池谷 力(S53)	前田 泰秀(H05)	中川 佳祐(H21)	森本 裕真(R04)
同上	米田 昌弘		荒瀬美喜夫(S44)	藤田 謙治(S54)	木村 隆幸(H06)	根木 沙織(H22)	鎌苅章太郎(R05)
同上	延永 稔仁(S50)		丸山 良夫(S44)	坂上 敏彦(S54)	中土井敬史(H07)	小笠原裕介(H23)	南 宇純(R05)
同上	北村 幸定(S56)		上柳 清志(S45)	平尾 雅一(S54)	卜部 伸一(H07)	赤星 健太(H24)	
同上	岩崎 央(S61)		正本 実(S45)	石橋 源三(S55)	水野 貴史(H08)	植田 友祐(H25)	
同上	小川 芳也(H14)		奥田日出男(S46)	山口 雅明(S55)	吉山 昌志(H09)	川島 慶一(H25)	
同上 幹事	手嶋 正和(H10)		江原 光治(S47)	道山 長八(S57)	山元 一平(H11)	川口 雄大(H26)	

下線を引いた氏名は連絡先(メールアドレス)が不明な方です。お手数ですが、事務局までご連絡ください。(ishida@civ.setsunan.ac.jp)  
ご連絡がない場合には、来年度以降は評議員名簿から氏名を外させていただく予定です。

【摂南大学土木会】令和4年度 決算書・令和5年度 予算書(案)

令和4年度 決算(案) 2022年10月1日から2023年9月30日

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	863,454	863,454	事務費等	140,000	25,422
正会員入会金(64→56名)	640,000	560,000	会報発行費	800,000	783,166
広告料(20→19社)	400,000	380,000	同窓会補助	80,000	10,000
預金利息	100	11	役員会・評議員会費	100,000	99,860
寄付金	0	164,000	総会費	400,000	402,564
雑収(総会懇親会参加費)	0	144,000	特別講演会(2人分)	100,000	60,000
			ホームページ維持管理費	132,000	132,000
			慶弔費・見舞金	70,000	26,598
			雑費	30,000	5,141
			名簿追加修正費	30,000	0
			予備費	21,554	566,714
合計金額	1,903,554	2,111,465	合計金額	1,903,554	2,111,465

令和5年度 予算(案) 2023年10月1日から2024年9月30日

収入の部		支出の部	
科目	予算	科目	予算
前年度繰越金	566,714	事務費等	140,000
正会員入会金(59名)	590,000	会報発行費	800,000
広告料(20社)	400,000	同窓会補助	80,000
預金利息	100	役員会・評議員会費	100,000
特別積立金より40万円	400,000	総会費	400,000
		特別講演会(2人分)	100,000
		ホームページ維持管理費	132,000
		慶弔費・見舞金	70,000
		雑費	30,000
		名簿追加修正費	30,000
		予備費	74,814
合計金額	1,956,814	合計金額	1,956,814

社会基盤をつくっています

みなさんのまちを  
トンカチ  
トンカチ

みなさんのまちを  
トンカチ

ナイスワーク・ナイスコミュニケーション  
**奥村組土木興業株式会社**  
〒552-0016 大阪市港区三先1丁目11番18号  
06-6572-5301(代表)

大阪市内より30分圏内の  
緑豊かなお墓地をご案内いたします。  
お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120(305075)

**(株) 太田石材店**

本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号  
TEL 06-6930-5075

当社推奨霊園

- 総持寺霊園(茨木市)
- 陰国寺墓地(吹田市)
- 海印寺墓地(長岡京市)
- 王寺霊園(奈良県)
- 東本願寺天満別院(北区)
- 北拱霊園(豊能郡)
- 真龍寺霊園(茨木市)
- 服部徳風墓地(豊中市)
- 竜の子霊園(奈良県)
- 玉手山墓園(柏原市)
- 飯盛メモリアルパーク(四條畷市)
- 飯盛霊園(四條畷市)
- その他公営墓地

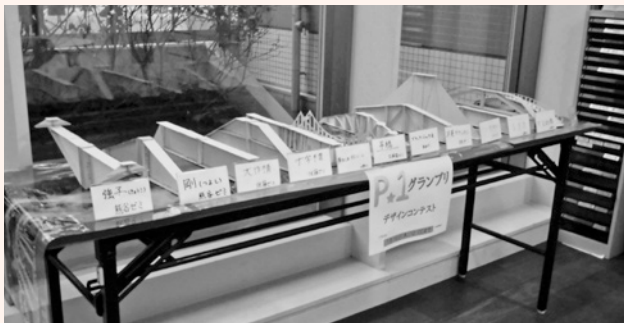
## 教室だより

今年度の都市環境工学科は、302名(1年次87名、2年次92名、3年次64名、4年次59名)の学生が在籍(本学科出身の大学院生は、1年次2名、2年次5名在籍)しています。熊野知司教授を学科長として、現在専任教員9名、非常勤講師35名、事務スタッフ3名の陣容で教育・研究の指導を行っています。

昨年度は、前期から対面形式で講義が行われ、学科主催の行事として、講演会および現場見学会を実施しました。講演会は、大阪府都市整備部の方のご協力を得て、土木系公務員の職務、土木全般の維持管理についてご講演いただきました。1年生の現場見学会は、大阪府 津波・高潮ステーションで行われ、3年生の現場見学会は5箇所(①NEXCO総研 緑化技術センター、②(株)パスコ関西事業部、③大阪市水



大阪府 津波・高潮ステーション見学



P-1グランプリ(デザイン部門の橋梁)

都市環境工学科 特任講師 久保田 誠也



道局 柴島浄水場、④大鉄工業(株) 守山・栗東大門野尻線架道橋新設工事、⑤鹿島建設(株) 新名神高速道路枚方工事)に分かれて行われました。摂南大学土木会を通じて、大鉄工業様の見学先をご紹介いただきました。この紙面をお借りして、心より厚くお礼申し上げます。

本学科の学位記授与式では、摂南大学土木会会長の青木葉隆典様より祝辞をいただきました。さらに摂南大学土木会による卒業研究優秀賞として、建設部門・環境部門1名ずつ表彰させていただきました。また、田中ゼミの卒業研究指導をしていただいた頭井洋先生には、感謝の意を表して感謝状を贈呈いたしました。令和5年3月卒業の皆様方、新しいステージでのご活躍を期待しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



学位記授与式



P-1グランプリ(載荷試験)



まちのコントラクター  
**荻田建設工業株式会社**

取締役会長 荻田 孝太郎

ISO9001 本 社 〒660-0087  
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号  
TEL (06)6419-2981(代表)  
ホームページ: <http://karitakenetsu.com>  
三田営業所 三田市三田町36-16-201  
TEL (079)563-0095

KAIKEN—街づくりの総合コンサルタント

【企業理念】  
建設に係る技術力をもって社会に貢献すること

 **株式会社 開業計画研究所**

代表取締役 **井上 忍**  
(昭和44年3月卒業)

事務所: 東京・水戸  
TEL 03-5828-6855

# ポストコロナでの就職活動

都市環境工学科 教授 水野 忠雄

社会自体がポストコロナに入ったかどうかについては、まだ議論のあるところかも知れませんが、この就職活動においては、職場説明会、現場見学会や面接の実施についてオンラインをベースに考える雰囲気があった昨年度までに比べると、本年度は、これらのイベントが対面で実施されていることから、すでにポストコロナに入ったと言ってもよいように思われます。また、採用側としては、「自分たちを知ってもらう」「相手を知る」ためには、直接面と向かうことが最適であると考えておられるという証左なのかなと思います。個人的には、職場、生み出される製品を知るという点においては、やはり現地に行く、実物を見るのが重要だと思いますが、一方で、作りこまれた会社説明動画や、新たな可視化手法の活用により実物でもなかなか見ることができない視点からの映像については、HPへの掲載や動画配信サイトを活用した情報提供として、採用・就職活動の重要なツールになっていくのではなにかと思います。ただ、〇〇ナビなどを用いたマスとマスのマッチングが主流となりつつある昨今においては、すでにそういった情報にたどり着くまでの工夫が双方に必要となっているようにも思います。

さて、都市環境工学科における2024年卒業予定者の8月上旬時点の進路先決定・内定率は約8割と例年並みとなっています。その割合は、進学：公務員：土木・建築工事関係：コンサルタント：その他が、概ね1：2：4：2：1です。ここ2年の進学（予定）先はすべて摂南大学大学院ですが、今年度及び来年度はそれぞれ2名及び4名と、過去に比べると若干少なくなっています。一方で、来年度は公務員への就職予定者が多くなっており、これらを合わせると、進路先の区分割合は例年通りになるのではないかと思います。大学院生については、4名全員の進路が決定しており、進路先は、土木工事業関係、コンサルタント、及びサービス（測量関連）となっています。私が修士課程中に就職活動をしていた頃は、いわゆるかつての学校推薦制度がなくなり、自由公募制に移行する時期でした。制度が定まらず、かつ、後にロスジェネと呼ばれる就職氷河期でもあり、大変な時期でした。昨今は、売り手市場で、ありがたいことに多くの学生さんは希望の進路先に就職していきます。一方、職場紹介や求人募集で多くの訪問を頂いています。コロナ禍を経て産み出された様々な採用・就職活動実施方法と関連ツールの利用、マスとマスを対象とした就職関連ビジネスの勃興、採用直結型のインターンシップの解禁と言った社会制度の変更のように、就職を取り巻く環境は目まぐるしく変化しているように思います。また、我々の業界では、人口減少社会においてインフラはいかに在るべきかが問われています。さらには、DXが叫ばれる昨今、社会と教育機関は、どのような人材をどれだけ必要としているのかについても真剣に議論していく必要があると感じます。

後戻りでないポストコロナ、真の新しい未来を皆様と作っていただければと思います。

**未来を、はかれ。**

国際航業

空間情報で未来に引き継ぐ世界をつくる

国際航業株式会社 西日本支社 関西事業所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-41 新大阪第2NKビル

<https://www.kkc.co.jp/>

Potential of Concrete

コンクリートで+αの可能性を広げる

ケイコン株式会社

土屋 涼 (R2卒)

土木構造物の専門技術者集団

鉄道・道路・トンネルの設計と維持管理

つくる&まもる

マイナビ2025 仕事体験会 開催中

中央復建デザインプラス株式会社

エンジニアリングデザインのCFK

課題を克服し、カタチにする

新田耕司 (H2卒)  
北 博之 (H4卒)  
手嶋正和 (H10卒)

中央復建コンサルタンツ株式会社

# 工学部土木工学科 8 期生 還暦同窓会

上島 竜太郎 (昭和61年卒)

令和5年4月29日、大工大梅田キャンパスのレストランテ翔21において、工学部土木工学科8期生(昭和61年卒)の還暦同窓会を開催致しました。



当日は道廣一利先生を迎え、同級生24人、校友会副会長2人を含め27人が集いました。

38年ぶりの再会に思い出話は尽きることなく、二次会まで賑やかな同窓会を楽しみました。また、同窓会開催にあたり、摂南大学校友会、土木会からもお祝いを頂き有難うございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



# 澤井ゼミ・ミニ同窓会

大阪工業大学都市デザイン工学科 特任准教授 小川 芳也 (平成14年卒)

令和4年12月29日に澤井先生を囲むミニ同窓会を開催いたしました。澤井先生の近況をはじめ多くの話題で大変盛り上がりました。開催にあたり摂土会からご支援をいただきありがとうございました。



Create Value,  
Build the Future

私たちは今、この時の行動ひとつひとつを大切に、  
これからの社会に新たな価値を創造し、  
ステークホルダーのみならずともに  
未来の社会に貢献し続けることを約束します。

私たちの今が、社会の未来を創る

 東亜建設工業  
TOA CORPORATION

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー www.toa-const.co.jp

今を守り、これからのを築く。

「線路」、「土木」、「建築」の3部門が力を集結し、社会を支えるプロジェクトを遂行しています。

卒業生37名在籍

〒532-8532 大阪市淀川区西中島3丁目9番15号 <http://www.daitetsu.co.jp/>

 JR西日本グループ  
大鉄工業株式会社

## 建設コンサルタントとして

復建調査設計 藤家 凌我(平成31年卒)



私は、令和3年に建設コンサルタント会社である復建調査設計㈱に入社し、今年で3年目となりました。建設コンサルタントって何?と思われる人も多いと思います。建設コンサルタントとは、国や地方自治体が行う土木分野の業務(調査、計画、設計、施工管理、維持補修等)を対等な立場でお手伝いするパートナーのような存在です。入社から2年間で従事した業務内容及び経験を紹介します。

入社1年目は、地域公共交通計画というバスやタクシーの計画策定業務に従事しました。計画作りにあたっては、発注元の担当者はもちろん、地域住民や商店の方々にヒアリングを行い、地域の実情を把握することに努めました。ヒアリングを行うと既存のデータではわからない様々な課題が見えてきました。例えば、病院の送迎バスと路線バスが競合している「交通事業者は運転手が不足し、路線を維持できない」などです。より地域の実情に合った計画策定のために、現場の声を聴くことの大切さを肌で感じました。

2年目は、グリーンスローモビリティ(電動自動車)に関する社会実験業務に従事しました。グリーンスローモビリティとは、電動かつ時速20km/h未満で走行する車のことです。特徴は窓やドアが無いので、自然や景観を楽しむのに優れています。私は、その車両の管理運営を任せられました。上司の指導の元、実験当日に向けて運転手のシフトや車両の入庫時間など綿密な計画を立てました。しかし、実験期間中に車両のバッテリーが上がってしまい、運行ができなくなってしまうトラブルが発生しました。すぐに代替りの車両を手配し、動かなくなった車両のバッテリーを交換しました。現場では予想外の出来事が発生しましたが、同僚の力も借りながら困難を乗り越えることができました。

これまでの業務を通して、楽しさややりがいを感じる事ができましたがその反面、知識・経験不足や認識のズレなど大変な事も数多くありました。私は地域の存続や発展のためには、人の移動(公共交通)が欠かせないと考えています。地域住民が住み続けられる公共交通のあり方を理想として、これからもさまざまな知識を蓄え、経験を積み重ねていきたいと思っています。

## KANSOテクノスでの経験

株式会社KANSOテクノス 川端 将貴(平成28年卒)



私は2016年4月に㈱KANSOテクノスへ入社しました。弊社は関西電力グループの一社であり、「土木・環境・建築」の事業分野からなる総合エンジニアリング会社です。このうち、私が所属する土木部門では、一般土木工事や発電所の土木設備維持管理業務をはじめ、地質調査やコンクリート調査、鋼構造物調査といったコンサルト業務まで幅広い業務を行っており、私自身、色々な業務を経験したいと考え、この会社に入社しました。

私が経験した業務は、変電所造成工事から始まり、近畿の各支店で水力発電所や変電所の点検補修工事の経験を積みました。そして、本店へ戻り、現在は土木工事グループで各種工事の施工管理業務を任されており、発電所アクセス道路造成工事の現場代理人として従事しています。

これまでで一番印象的だったのは、4年目に配属された滋賀支店で、初めて現場代理人として一つの現場をやり切ったことです。この工事は変電所構内において変圧器基礎を築造する工事でした。工種としては、掘削、コンクリート打設といったシンプルな工事でしたが、変電所構内ということもあり高圧線下での作業を余儀なくされました。このため、感電防止対策としてアーム高さを制御できるバックホウを採用し、安全距離の確保に努めるなど細心の注意を払いながらの施工が求められました。一方、現場代理人として発注者と進捗管理調整や追加工種の提案、価格交渉などに努めるとともに、協力会社の方々への確かな指示を出しつつ現場を遂行しました。その中で、発注者と協力会社の双方の話を聞き、話をまとめることに苦労しましたが、上司や在籍する撰南大学の先輩方から助言を得ながら工事を円滑に進め、無事工期内に無事故で完工することが出来ました。

入社して8年目になりますが、まだまだ経験不足で、これからも分からない事が多く出てくると思います。しかし、人生日々勉強だと思っていますので、「電力という重要なライフラインを支えている」という自負を持ちつつ経験を積み重ねて、今後日々成長していきたいと思っています。

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業  
**NAWAKENSETSU CO.,LTD.**

**奈和建設株式会社** NAWA Group

本社 和歌山県橋本市賢堂 1114-1 株式会社イヌエコシステム 和歌山県橋本市神野々 40-3  
TEL 0736-32-3733 FAX 0736-33-3217 一般廃棄物処理業・産業廃棄物処理業・建設発生廃棄物中間処分業  
和歌山支店 和歌山県和歌山市毛見 1508 株式会社 NAWA 和歌山県海南市下津町方 246  
総合建設業  
和歌山営業所 和歌山県和歌山市井ノ口 540-3 谷川建設株式会社 伊都郡かつらぎ町賢堂 310-1  
総合建設業  
かつらぎ営業所 和歌山県伊都郡かつらぎ町賢堂 310-1 株式会社志達商事 和歌山県橋本市賢堂 1114-3  
土木・建築 資材総合会社  
田原本資材置場 奈良県磯城郡田原本町西竹田 108 株式会社住友建材 和歌山県橋本市宇文路 163-1  
土木・建築 資材総合会社・総合建設業  
土木管理総合試験所FC和歌山店 和歌山県橋本市賢堂 1114-1  
地質調査・土質調査・環境調査・汚染地調査・測量設計・土壌浄化工事・地盤補強工事

**常盤工業株式会社**

【本社】  
〒102-8182 東京都千代田区九段北4-2-38  
TEL:03-3262-9181  
FAX:03-3262-9200

【大阪支店】  
〒540-0012 大阪市中央区谷町1-3-27  
TEL:06-6942-1507  
FAX:06-6942-1500



# 土木工学科 2 期生同窓会・ 井上 治先生、久保 章君を偲ぶ会の報告

山口 雅明 (昭和55年卒)

コロナ禍で延長となっていた卒業後40周年の同窓会を、令和4年11月19日(土)に大阪工業大学梅田キャンパス「OIT 梅田タワー」において開催しました。同窓会は、土木会令和4年度総会に於ける懇親会場でを行い、2期生同窓会(23名の内、皆さんのお声掛けにより3・4・9期生も参加)とともに土木会名誉顧問の井上先生、土木工学研究部の2代目部長久保章君(30回忌)の偲ぶ会も開催しました。

懇親会開始前に、他にも亡くなられた先生方・同級生のご冥福を祈り、黙祷を致しました。その後は井上先生や久保君の思い出話や、皆さんの近況報告などで盛り上がり、楽しい時

間を過ごす事ができました。

最後に今回、同窓会・偲ぶ会の開催に当たり、土木会の青木葉会長・石田教授にご協力頂き、この場をお借りしましてお礼申し上げます。



## 株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント  
道路、河川・砂防及び海岸・海洋  
都市計画及び地方計画  
下水道、施工管理、発注者支援  
測量  
測量全般、鉄道測量(JR)  
代表取締役 市原 久照 (高専52年卒)  
〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3番地の2  
TEL 0774-22-7137 FAX 0774-22-4966  
E-mail:nissho-soumu@cyber.ocn.ne.jp  
http://nissho-engineer.co.jp  
支店、営業所：大阪支店・城陽支店・南丹営業所

2020年4月(株)住軽日軽エンジニアリングより社名を変更しました。

美しいまちとあなたのアル未来



日軽エンジニアリング株式会社

本 社 / 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-35-13 新永ビル TEL.03-5628-8510  
大阪支店 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-5-18 朝日生命道修町ビル TEL.06-6223-3561  
http://www.sne.co.jp/

## HC 21世紀をグローバルに拓く 株式会社花村コンサルタント

建設コンサルタント業 第8662号  
地質調査業 第1760号  
測量業 第14744号  
土壤汚染指定調査機関 2015-5-1003

代表取締役 花村 浩司 (高専C昭和47年卒)  
理事 井村 達雄 (高専C昭和47年卒)  
技術士/総合監理(建設部門「鋼構造及びC/道路」)  
本 社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦 9-8  
TEL (0774)21-5067(代) FAX(0774)21-5655  
大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4-314  
※随時 求人募集中

## 株式会社 日本インシーク

総合建設コンサルタント

未来を見据え このまちをささえる

■大阪本社  
〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14  
TEL 06-6282-0310 FAX 06-6282-0311

■東京本社  
〒104-0033 東京都中央区新川1-23-4  
TEL 03-4214-2000 FAX 03-4214-2001

■名古屋支社 / 神戸支社 / 奈良支社 / 九州支社

■会社HP <https://www.insieq.co.jp/>

■建設コンサルタント  
河川・砂防および海洋・海洋、港湾及び空港、  
電力土木、道路、上水道及び工業用水道、下水道、  
農業土木、森林土木、造園、都市計画及び地方計画、  
地質、土質および基礎、鉄構造及びコンクリート、  
トンネル、建設環境、電気電子、発注者支援

■測量業 ■地質調査業 他

## 田中賢太郎先生を偲ぶ

摂南大学大学院を修了の後、2011年に都市環境工学科に着任され、長らく摂南大学土木会の常任委員として事務局を担当していただきました田中賢太郎先生が、2022年11月30日にご逝去されました(行年44歳)。謹んでご冥福をお祈りいたします。

鋼構造学・橋梁研究室(田中ゼミ)の最後の大学院生となった3人に、在りし日の田中先生との思い出を話していただきました。



左から、杉本さん、忝本さん、中原さん

3人とも構造系の科目の勉強が好きで、研究もそれぞれ橋梁やペローズのことをテーマにしたいと思い、鋼構造学・橋梁研究室を志望したそうです。特に、杉本さんと忝本さんは、3年生のゼミ科目(都市環境ゼミナール)から田中ゼミを希望し、勉強を続けられました。

彼らが4年生で研究室に配属となった2020年に、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、緊急事態宣言により大学も閉鎖になりました。4年生の前期は、基本的にオンラインでのゼミとなったそうです。前期の間に1度、ゼミでオンライン飲み会をしたそうです。直接会えなくても、せっかくゼミに配属したのだからと、田中先生の思いで実現した企画でした。その時に先生の小さな娘さんがオンラインの画面に恥ずかしそうに出てきた様子がとてもかわかったそうです。ようやく、9月になってから大学に通い卒業研究が本格的に始まったそうです。

彼らが4年生の冬休み、田中先生が最初の入院をされました。卒業研究発表会は田中先生不在の中行われました。

大学院に進学してからも、田中先生は病気療養や入院で不在のことが多く、そんな中でも、先生はオンラインでのゼミを続けられ、学生たちの指導に当たられました。就職活動についても、学生が興味のある企業に就職している卒業生を紹介してくれるなど丁寧に指導されました。4年生の指導については、先生ご自身ができない部分を、大学院生たちが代わりに担当したとのことでした。田中先生がご病気になられてから、研究室の4年生の配属人数を減らす措置を取りましたが、構造系分野を希望する学生がいるため、数人は配属せざるを得ませんでした。

大学院生の研究指導については、田中先生が病

床からオンラインやメールで行われました。土木学会の発表論文も、メールでやりとりして仕上げたそうです。また、田中先生不在の中、大学院生のサポートを全面的にさせていただいたのが、名誉教授の頭井洋先生でした。大学院生たちには、頭井先生から田中先生の療養の様子についてはある程度お話しされていたそうです。全員が田中先生の復帰を信じて待っていましたが、田中先生とメールでの連絡が取れなくなってしばらく経った2022年11月30日、突然の訃報が学科に届きました。

通夜式と告別式は、2022年12月3・4日に執り行われました。田中ゼミの歴代卒業生の他、多くの卒業生に集まっていただき、田中先生がいかに学生たちに慕われていたかがよくわかる式となりました。また、通夜式の日、田中先生も毎年楽しみにされていた第43回関西鋼構造ソフトボール大会がありました。田中ゼミの学生たちは朝からソフトボール大会に出場した後に、田中先生に勝利を報告するために駆けつけてくれました。摂土会からは、歴代会長が出席し、弔電、供花を出させていただきました。ここにご報告させていただきます。

実験装置については田中先生しかわからないことが多く、装置が全く動かない時、頭井先生や業者さんの力も借りて何とか動かせるようになったのが、修士2年生の冬だったそうで、実験をしないと修士論文が書けないと、1月まで必死に実験したそうです。また、この時期は4年生の卒業論文の添削指導をしながら、自分たちの修士論文を執筆し、締切1週間前は食事をとる時間も惜しいくらいだったそうです。

コロナ禍もあり、思うような学生生活ではなかったかもしれませんが、彼らは田中ゼミでしっかり成長されました。3人とも、今の自分たちがいるのは、田中先生や頭井先生をはじめ、周りの人のおかげであると話し、特に頭井先生には最後まで研究指導をしていただき大変感謝していました。

杉本さん、中原さん、忝本さんの今後のご活躍を期待しています。

最後に、田中先生、都市環境工学科と摂土会の発展にご尽力いただいたこと、あらためてお礼申し上げます。ご冥福をお祈りいたします。どうぞ空の上から、卒業生たちの活躍をお見守りください。

聞き手 石田裕子  
(都市環境工学科教授/摂南大学土木会会計)

摂土会会員のみなさまへ  
今回の会報発送に際し、「故田中賢太郎先生遺児育英募金のお願い」を同封しております。みなさまの温かいご支援をお待ちしております。

## 技術士会だより

会長 飯田 章(昭和61年卒)

去る7月22日に技術士会の総会を執り行い、令和4年度の会計・事業報告、令和5年度の事業計画について報告と承認がされました。その他、決議事項では、新役員4名の増員、新体制が承認されました。今年度は、新たに3名の方が新会員に加わり、技術士会は総勢64名となります。総会後には、都市環境工学科の佐藤先生から、ご研究についてのご講演を頂き、大変興味ある講演を受け、その後の懇親会では質問が飛び交う活発な意見交換が行えました。

技術士会は、土木系だけでなく様々な分野の方もご参加頂けます。その中でも、現状、土木系の資格取得者が多いことは周知の事実で、土木会とはこれからも協力しながら歩んでいきたいと思っております。皆様、技術士を取得されている方で会員になられてない方は、是非ともご参

(技術士会臨時連絡窓口(メール):yamaday@kanko.cityis.co.jp 担当:山田雄太(平成20年卒))

加頂ければと思います。

さて、活発な意見交換と書きましたが、先生の研究の話だけでなく技術士会のあり方などの意見交換がありましたので紹介します。①技術士補の受験支援、②技術士の受験支援、③技術士会が主となる人材紹介や企業紹介、④技術情報の共有化、⑤技術士会発信情報媒体等です。紙面の関係で書き切ることが出来ませんが、入会のメリット、大学への貢献、OBへの貢献、学生への支援など、様々なテーマと課題が多く、皆様のお力をお貸し頂けるようご参加やご協力を募る次第です。ただ、連絡手法の1つであるホームページが、現在改修中に付き閲覧できないことを報告しておきます。当会への連絡は大学、土木会、技術士会の組織やメンバーを通じてご連絡頂けますようよろしくお願いいたします。

## 昨年10月以降に寄付いただいた方を今号にてご紹介いたします。

(2023年6月現在 敬称略・順不同)

中井 敏明	青木 隆典	太田 隆三	福山 孝三	松本 朝彦	與田 朝彦	西川 朝彦	土田 朝彦	高石 朝彦	畑尾 朝彦	清一 朝彦	榎本 朝彦	井上 朝彦	田中 朝彦	西尾 朝彦	長尾 朝彦	池田 朝彦	辻原 朝彦	野村 朝彦	西山 朝彦	山上 朝彦	福嶋 朝彦	奥村 朝彦	谷川 朝彦	伊東 朝彦	織野 朝彦	松田 朝彦	足立 朝彦	西山 朝彦	平山 朝彦
昭和45年卒	昭和62年卒	昭和43年卒	昭和57年卒	昭和55年卒	昭和54年卒	昭和48年卒	昭和48年卒	平成8年卒	昭和58年卒	平成23年卒	昭和60年卒	昭和57年卒	昭和42年卒	昭和48年卒	令和3年卒	昭和62年卒	昭和57年卒	昭和55年卒	昭和62年卒	昭和58年卒	昭和45年卒	昭和58年卒	昭和56年卒	平成5年卒	昭和57年卒	昭和55年卒	昭和50年卒	昭和61年卒	平成11年卒

## 計 報

謹んでご冥福をお祈りします。

藤倉 徹 様(令和4年9月逝去) 教員	菊池 康雄 様(令和3年12月逝去) (昭和44年卒)	西本 直樹 様(令和4年7月逝去) (昭和61年卒)
田中 賢太郎 様(令和4年11月逝去) (平成13年卒) 教員	楠神 正男 様(令和4年10月逝去) (昭和44年卒)	西谷 博雄 様(令和5年2月逝去) (昭和46年卒)
奥西 三博 様(平成21年4月逝去) (昭和42年卒)	久宗 仁宜 様(令和4年5月逝去) (昭和44年卒)	上山 亘 様(令和5年8月26日逝去) (昭和50年卒)
柿木 康男 様(令和3年12月逝去) (昭和43年卒)		

## 第43号会報に関して寄せられたご感想の一部を紹介いたします。

- \* 継続発行の程よろしく願います。
- \* 大学や土木会の状況、後輩の活躍が見られて楽しく読ませていただいています。
- \* コロナ禍で、学生や企業も大変な状況の中指導いただき感謝いたします。
- \* いつも楽しく拝読しております。
- \* キャンパスが大きくかわっていることに、びっくりしています。
- \* 皆さんの取り組みがわかって、有り難いです。
- \* とても楽しみにしています。

- \* 毎回楽しみにしております。これからも宜しく願っています。
- \* 国交省を卒業し、7月よりコンサルに勤務しております。インフラDXやコロナ対応の記事を記載してほしい。
- \* 兵庫県庁で働く方の記事を見て、同じ行政マンの苦労がよくわかりました。
- \* 現在の情報が知れてよかったです。
- \* いつも楽しみに読ませていただいています。
- \* 在学中のことと重なることもあり、懐かしく感じました。

## 広告掲載募集中!

摂南大学土木会事務局

E-mail:ishida@civ.setsunan.ac.jp

HP:https://www.setsudokai.jp/



株式会社 森本組

www.morimotogumi.co.jp



テーマ：Z世代からみた現代社会

# 大学生生活の中で、私達はこんなことを考えています！

## 地方と大都市が抱える人口問題

1年生 齊藤 菜々美



山口県萩市での夏休み滞在中、地方都市と大都市の対照的な現状に直面しました。地方都市では、空き家の増加と若い世代の不足。一方、大阪の活気あふれる開発の中で、地域の発展と人口減少問題に向き合うことの重要性を感じました。

特に、日本の人口減少問題が、地方都市と大都市の両方に影響を与えていると感じます。高齢化が進行し、若い世代の数が減少していることは、地域のバランスを崩し、経済や文化にも大きな影響を与えます。実際に、萩市では小萩人形が昭和初期から作られてきましたが、現在では作れる人が減少し、小萩人形の文化が衰退しており残念に思いました。

地方都市での若者の増加を達成するためには、地域でばらつきのある少子化対策ではなく、国全体で取り組むべきです。そして、都市部への流出を防ぐには適切なインフラ整備を行い、働き口を増やすことが重要です。若者が住みたい街をつくるためには、私たち若者ができることは自ら意見を発信していくことです。

私は、地方都市と大都市の両方の視点から、日本の人口減少問題に対し、地域社会の活性化と持続可能な未来を追求していきたいと思っています。都市環境工学科で学ぶ知識とアプローチを駆使して、課題解決に取り組んでいきたいです。

## SNSについて

2年生 橋本 菜々子



最近になってまたスマートフォンやパソコンなどの機能が豊富になり、SNSを通じてさまざまなことができるようになったと感じています。そこで私は、SNSを利用する上での長所と短所について考えました。

長所は、さまざまな分野において知りたい情報をすばやく収集したり、家族や知り合いだけでなく世界中の知らない人々とそれをすぐに共有することができる所です。いろいろな人たちとの交流を深めることによって、日常生活がより充実したり、今まであまり知らなかったことにも興味を持って学習することによって、発想力がより豊かになると思います。

短所は、誰もがいつでもどこでも自由な書き込みをすることができてしまう所です。最近、SNSの誹謗中傷の被害にあったというニュースをたくさん耳にし、悲しい気持ちになります。便利な機能であっても使い方を間違えば、時に人を傷つけてしまうのだなと改めて強く実感しました。世界中の人々がSNSをもっと有意義で安全なものとして利用し続けるために、発信する相手を思いやる気持ちと、投稿する前に「一度立ち止まって考える」という習慣を大切にすることがもっと増えることを祈ります。

SNSについてしっかり理解した上で、これからも楽しく活用していきたいです。

## 常識の変化について

4年生 石川 雄大



現代社会を見て感じていることは、今まで普通だと思っていた常識が変わっていくことです。一つの例として、今回は高校野球について取り上げさせていただきたいと思います。

今年の全国高校野球選手権記念大会では、神奈川県の大府高等学校が夏連覇を狙った宮城県仙台育英高校を破り、1916年の第2回大会以来107年ぶりに優勝し、大きく話題となりました。その中でも今回の大会で注目されたものがあります。慶応高校も含めて丸刈りではない高校が目立ったことです。私の学生時代は、野球をしている人は丸刈りが普通でありましたが、今回髪型について話題となったことから今後、世間一般の常識が変わっていくのかなと感じました。このように、今までは普通であったことが変わっていくということはこれらもあるのかなと思います。

将来、社会は変化していくと思いますが、柔軟に対応できる社会人にならなければならないと思います。そのための一つとして様々なことに興味、関心を持ちたいと思います。

## 世代間の考え方や価値観の違い

3年生 光瀬 凌太郎



私が感じている現代社会のイメージは、世代別の価値観の違いが大きくなっているところだと思います。例えば、若い方が経営しているところでのアルバイトは服装、髪型が自由ですが、逆に自分が働いている大手のチェーン店などでは厳しいところが多いと感じています。確かに身だしなみで店の印象が悪くなったりするため厳しくなってしまう事もわかりますが、厳しすぎるのも良くないと思います。そういったことから価値観の違いから、衝突が生まれてしまいます。それともう一つ、私たちZ世代はわがまま、年功序列を嫌う傾向があります。少し上の世代になると、上の人の指示には多少は反発するものの従順な傾向がありますが、私たちZ世代は上の世代だからといって話を聞こうという意志は余り感じられません。これはネットが普及し、どんどん必要なものを選択することが自由になってきているからだと考えました。それにより、個人主義の人が増えたのだと思います。逆に捉えれば新たな考えができる世代だと考えます。このことから、上の世代は時代の移り変わりに適応しなければならないし、私たちの世代は上の世代の方をリスペクトしなければならないです。それと同時に、次の世代にも適応しなければならないと考えています。落ちついてきた社会の中でそういった意識の違いによる世代間のギャップを埋め合わせていくことが大切だと考えました。

## 編集後記

このページは、私たち大学院1年生が企画・作成したものです。ここでは、先生方やOB・OGの方だけでなく、学生、受験生、そして皆様のご家族様にも、学部生がどのように大学生活に取り組んでいるかがわかるような会報誌にしたいと考え、学生自身の考えや意見を掲載しています。最近ではコロナ明けということで、社会も以前の状態に戻りつつあります。今年度から摂南大学には現代社会学部が開設され、学校としても現代社会に対して関心がある学生を集め、社会の疑問や課題に多角的に取り組んでいます。今回、土木会会報の最終ページをらせていただけるということで、現在の大学生が現代社会に対してどのように考えているのかを調査するよい機会であると思い、テーマを「Z世代からみた現代社会」としました。自分たちもこのテーマを設定するにあたり、現代社会について調べ、考えるきっかけになりました。学部生の文章では社会が変化することに起因する常識の変化、SNSが普及した現代社会での倫理観、いわゆるジェネレーションギャップや人口減少に対する考え、などが見られました。自分たちも今後も変わりうる現代社会に対して、どのような側面から貢献できるのかを考え、自身の研究に生かしたいです。



編集委員 南 宇純、鎌河 章太郎